

ヒトと動物の関係学会 第18回学術大会



3月10日(土)「エゾシカによる被害の防止と対策」

コーディネーター:石田 睦(帝京科学大学アニマルサイエンス学科)

パネリスト

宮木 雅美(酪農学園大学環境システム学部)

「エゾシカの増加と被害実態、森林植生への影響」

井田 宏之(社団法人エゾシカ協会)

「エゾシカ有効活用の経緯と今後の対策」

増子 孝義(東京農業大学生物産業学部)

「エゾシカによる被害の防止と今後の対策

—資源活用の可能性—」

3月11日(日)「シェルターワークの課題」

コーディネーター:内田佳子(酪農学園大学)

パネリスト

松本充史(熊本市動植物園)

「日本の動物保護施設の現状と課題」

山崎恵子(ペット研究会「互」)

「海外のシェルターの現状と問題点、日本が取り入れるべきところ」

阿部俊範(あべ動物病院)

「災害時臨時シェルターを考える

:石巻の動物救護センター立ち上げと運営で感じた問題点」

場所:「東京大学農学部 1号館 8番教室」

&

「アネックスセイホクギャラリー」